

中国・延辺大学

第二回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム

プログラム（研究会日程）

1. 日時(日期) : 2011年8月22日(月)～8月25日(木)
2. 会場(会场) : 延辺大学芸術学院学術報告庁
3. 主催(主办) : 延辺大学外国語学院・延辺大学日本学研究所
4. 共催(协办) : 日本・明治大学大学院教養デザイン研究科  
日本・弘前大学国際交流センター  
日本・朝鮮族研究学会  
韓国・高麗大学校言語情報研究所  
韓国・新羅大学校日語日文学科
5. 後援(赞助) : 在瀋陽日本国総領事館  
日本国際交流基金会 北京日本文化中心  
卡西欧(上海)貿易有限公司  
延辺大学出版社  
華東理工大学出版社

\*\*\*\*\*

★ 一日目・第一天（8月22日、月曜日・星期一）

08:00～22:00 受付（报到） 翔宇酒店 ロビー（大厅）

※院生は受付時に学生証を提示（提示できない場合、会費の割引なし）

※夜 10:00 以降到着の場合は翌朝 7:20～7:50 開幕式場入口で受付

17:30～20:00 夕食 翔宇酒店 2F(バイキング・自助餐)

★ 二日目・第二天（8月23日、火曜日・星期二）

午前（上午）

☞ 開幕式（08:00～08:40）延辺大学芸術学院学術報告庁

司 会 権 宇（延辺大学教授、外国語学院院长）

挨拶 崔炯謨（延辺大学副学長）

加藤英次（在瀋陽日本国総領事館 首席領事）

高橋耕一郎（日本国際交流基金会日本文化中心 副主任）

岩丸陽一（卡西欧上海貿易有限公司 副総経理）

山泉進（日本・明治大学教授、副学長）

宿久高（吉林大学外国学院院长、中国日語教学研究会名誉会長）

李鋼哲（日本・北陸大学教授、朝鮮族研究学会会長）

郡千寿子（日本・弘前大学教授）

☞ 記念撮影と小休憩（08：40～09：00）※記念撮影（総合楼入口階段）

☞ 基調講演（09：00～11：30）※講演時間約40分、質疑応答約10分

司 会 李東哲（延辺大学教授、日本学研究所所長）

①王 勇（北京大学 教授）

テーマ 「漢字という語の起源と変遷—『東アジア文化圏』断想—」

②真田信治（奈良大学 教授）

テーマ 「変革の前衛—東アジア残存日本語—」

③李漢燮（韓国高麗大学校 教授）

テーマ 「漢字文化圏近代新語・新概念のデータベース構築構想」

☞ 昼食（12：00～13：00） ※延辺大学第二食堂

#### 午後（下午）

☞ 分科会別一論文発表・質疑応答（13:00～17:30）

※時間の関係で大会終了時の座長報告を省略するので、各分科会の座長代表は、担当分科会の発表状況を紙面にて大会準備委員会に提出していただきます（座長報告書を配布）。なお、発表時間は各座長が適宜把握して進めてください。

☞ 歓迎レセプション（18:00～20:00） ※黄金星酒店

司 会 権 宇（延辺大学教授、外国語学院院长）

挨拶 華東理工大学出版社 代表

延辺大学出版社 社長 朴秀豪

☞ 大学院生フォーラム・研究生论坛（20:30～21:30） ◆場所は別途通知

\*誰でもご自由に参加できます。

司 会 延辺大学日本語学科専任講師（博士課程在学中）徐瑛

●講演と質疑応答

講演 杉村泰（名古屋大学准教授）

テーマ 「広告に見る格助詞のイメージ」

●大学院生自由交流

議題・議題—①「国内外大学院生の学術交流」

②「学位論文をどう書くべきか」

---

### ★ 三日目・第三天（8月24日、水曜日・星期三）

☞ 大会発表・大会发言（8:30～11:00）※講演時間約40分、質疑応答約10分

司 会 郡千寿子（日本・弘前大学教授）

①楊棟梁（南開大学 教授）

テーマ 「中国における日本研究の新動態（1997-2009）」

②崔光準（新羅大学 教授）

テーマ 「韓国における日本語教育の実態」

③姜龍範（延辺大学人文社会科学学院院長・教授）

テーマ 「菅直人就任後の中日関係」

☞ 休憩（11:00～11:20）

☞ 交流協定式典（11:20～11:40）

司 会 孫雪梅（延辺大学外国語学院日本語科主任）

①交流協定式

②挨拶 鄭 滢（韓国・檀国大学校教授、日本研究所長、日語日文学会会長）

権 宇（中国・延辺大学教授、外国語学院長）

③提案書（倡议书）

李東哲（延辺大学教授、延辺大学日本学研究所所長）

「研究機関同士の学術交流・連携を強化しよう」

☞ 閉会式（11:40～12:00）

司 会 権 宇（延辺大学外国語学院院長）

閉幕辞（分科会を含む大会全般のまとめと挨拶）

山泉進（日本・明治大学副学長・教養デザイン研究科長）

☞ 懇親会（12:20～14:00）※大宗酒店

司 会 李鋼哲（日本・北陸大学教授、朝鮮族研究会会長）

★ 四日目・第四天（8月25日～木曜日・星期四）

☞ オプション旅行（希望者のみ）

◆注意事項：

1. 受付当日、延吉空港と延吉駅の2ヶ所で大会案内係が待機し、ホテルまでの道順をご案内致します。
2. 当日夜 10:00 以降に延吉に到着予定の方は、便名、到着時間を事前に教えてください。できるだけ、便宜を図りたいと思います。
3. 到着当日の夕食は午後 5:30～8:00 分までとなっております。時間外の食事はできません。なお、朝食はホテルから出ます。
4. シンポジウム参加会費ならびに旅行費用は受付時に徴収いたします。
5. 各分科会での発表論文レジュメは各自 20 部ぐらい用意してください。
6. シンポジウム記念論文集への投稿応募の方は、「執筆要領」に基づいて書いた論文 3 部を受付に提出すると同時に、電子版もコピーしていただきます。なお、院生が応募する場合、必ず指導教授の氏名、所属と肩書を論文の最後に明記してください。

8月23日午後

第一会場【言語1】

座長：崔紅花、高橋 弥守彦

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	姜梅花	「ツツアル」と「テイル」の区別に関する一考察	浙江樹人大学
2	13:20~13:40	李 傑	「だろう」と「のだろう」	日本・九州大学
3	13:40~14:00	金美林	接続詞「そして」と「それから」の一考察 — 継起関係にある同一主題の文接続の結束性から	浙江樹人大学
4	14:00~14:20	韓金柱	現代日本語における「～がる」の構文的な特徴 — 「～ようだ」「～らしい」との比較において	日本・東京外国語大学大学院 (院生)
5	14:20~14:40	王 楠 李光赫	原因・理由を表す「カラ I」における日中対照研究	大連理工大学
6	14:40~15:00	崔紅花	中国語の区別詞と日本語の連体詞との 対応関係について	上海師範大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	崔松子	日本語と韓国語の格助詞 「に」「で」、「에」「에서」と中国語	大連海洋大学
8	15:50~16:10	高 橋 弥守彦	日中両言語の受身文を用いる言語環境について	日本 大東文化大学
9	16:10~16:30	黄燕青	動詞由来の日本語の複合辞と中国語の介詞 — 文法化の視点から	集美大学
10	16:30~16:50	徐英錦	日本語補助動詞「いる」の意味と先行成分との 共起関係について — 中国語・朝鮮語との対照研究を中心に	延辺大学
11	16:50~17:10	李光赫 張北林	既然性を表す「ナラ I」条件文における日中対照	大連理工大学
12	17:10~17:30	唐玉紅	日本語と中国語の文末確認要求形式の対照研究 — 「ね」「だろう」と「吧 (ba)」	吉林大学

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後

第二会場【言語2】

座長：鮑頤陽、杉村 泰

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	呉 宏	認知的観点から見た身体語彙慣用句の意味構造	洛陽外国語学院
2	13:20~13:40	杉村泰	日本語の回す/回る」と「V1-回す/回る」の意味について	日本 名古屋大学
3	13:40~14:00	徐 蓮	心理学実験に基づくプロトタイプ認定法 —多義語「上」のプロトタイプの再認定	北京日本学研 センター(院生)
4	14:00~14:20	金 蘭	日・中・韓国語における複合動詞の比較—原作『風の歌を聴け』とその中国語版・韓国語版をもとに一	日本 神戸大学(院生)
5	14:20~14:40	唐曉煜	「ABAB スル」型擬態語の漠然性について	大連理工大学
6	14:40~15:00	栄桂艶	オノマトペ(擬音語、擬態語)の素晴らしさについて	内蒙古民族大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	鮑頤陽	現代日本語における和製外来語の諸相 —複合語を中心に	北京外国語大学
8	15:50~16:10	梁継国 王 信 張冰華	当代汉语中来自日语外来词汇的研究 —調査研究報告書	日本 茨城大学
9	16:10~16:30	金秀東	日韓両言語における「名+動」型複合動詞について	延辺大学
10	16:30~16:50	李東哲	日・中・韓・英語構成研究—「動名詞」を中心に	延辺大学
11	16:50~17:10	孫佳音	時間副詞の反復性と継続性 —「いつも」と「つねに」を中心に	北京語言大学
12	17:10~17:30	姚灯鎮	親族間における自称詞と対称詞の使用について	洛陽外国語学院

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後

第三会場【言語3】

座長：朴貞姫、町 博光

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	郡千寿子	近世日本語の一面—往来物資料からの分析	日本・弘前大学
2	13:20~13:40	朴貞姫	日中韓言語文化の比較考察	北京語言大学
3	13:40~14:00	陳慧玲	近代東京語における切断型行為要求表現の考察	華中科技大学
4	14:00~14:20	町博光	琉球語奄美諸島方言の世代間変容	日本・広島大学 大学院
5	14:20~14:40	何 躍	言語表現から尊敬の意を考察する —日本語をめぐって	東北大学
6	14:40~15:00	呂雷寧	認識のモダリティという観点から見た 日本語の無意志自動詞表現	上海財経大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	鄭聖汝 円山拓子	非意志自動詞と「可能」 —日本語と韓国語の観点から	日本・大阪大学 日本・東京大学
8	15:50~16:10	梁廷旬	「くれる・くださる」の表現主体による表現形態 —明治期を中心として	韓国・慶熙大学
9	16:10~16:30	辛英花	翻訳から見る二人称代名詞の使い方	延辺大学
10	16:30~16:50	金桂英	接触場面における「不同意コミュニケーション」 —「配慮」に注目して	日本・早稲田大 学大学院 (院生)
11	16:50~17:10	季江静	依頼に対する「断り」のストラテジー —日本語母語話者と中国人日本語学者の 事例を比較して	日本・九州大学
12	17:10~17:30	李錦淑	「誘いコミュニケーション」における工夫の考察 —日本語母語話者の誘いメールを中心に	日本・早稲田大 学日本語教育セ ンター

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後

第四会場【言語4】

座長：余維、池田 哲郎

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	曹春玲	日本語の男女差が縮まっているか	海南師範大学
2	13:20~13:40	李 凝	談話におけるヘッジ(hedge)の機能について	中央財經大学
3	13:40~14:00	瀬端睦	東アジアにおける気の展開—近現代日本における「気遣い」に関する談話分析を中心に	日本・立教大学大学院(院生)
4	14:00~14:20	曹金波	擬音語・擬態語の後続省略に関する研究—文末に用いられる「ABAB」型を中心に	大連外国語学院
5	14:20~14:40	池田哲郎	語用論とユーラシアの言語	日本 京都産業大学
6	14:40~15:00	都恩珍	日本語と韓国語のコミュニケーションスタイルについて—「断り」のリアクションを中心に	日本 桜花学園大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	周艶紅	「呢(NE)」の語用論的な解釈	大連民族学院
8	15:50~16:10	張雪梅	依頼談話のストラテジーについて—日本人と延辺朝鮮族大学生の実際談話を中心に	日本・広島大学(院生)
9	16:10~16:30	崔信淑 李 軍	言語システムの差に見る日中韓詫び行為	北京林業大学
10	16:30~16:50	黄美花	母語場面と接触場面の自然会話における「なんか」の機能に関する一考察—日、中、韓母語話者の初対面会話に着目して	日本・東京外国語大学大学院(院生)
11	16:50~17:10	余 維	空間直示における日中対照語用論的分析	日本 関西外国語大学
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後

第五会場【言語5】

座長：任星、中村 愛

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	白曙光	日本語新聞見出しの文法及びその習得について	洛陽外国語学院
2	13:20~13:40	金 珠	延辺朝鮮語話者による日本語有声・無声破裂音の知覚について	日本・大阪大学大学院（院生）
3	13:40~14:00	任 星	促音の聴覚的認知の特徴一日・中・韓の比較	厦門大学
4	14:00~14:20	張紅濤	中国における日本語注意書きの誤用についての考察	哈爾濱工業大学
5	14:20~14:40	中村愛	「くらしのガイド」における語彙の調査と分析	韓国・新羅大学
6	14:40~15:00	結城佐織	擬音・擬態語、副詞を使った物語の作成について	吉林華橋外国語学院
※ 休憩（15：00—15：30）				
7	15:30~15:50	呉世蘭	有対自他動詞の習得に関する研究	大連理工大学
8	15:50~16:10	金永洙	日韓（朝）両言語の敬語について—使用上の誤りを中心に	延辺大学
9	16:10~16:30	周艳阳	終助詞「ね」と「よ」について—自然談話における「ね」と「よ」のコミュニケーション機能	大連外国語学院
10	16:30~16:50	王燦娟	品詞の相違による日中同形語の誤用に関する研究—二字漢語を中心に	日本・九州大学大学院（院生）
11	16:50~17:10	黄文瀾	外来語の習得について	大連理工大学
12	17:10~17:30	趙 宏	日本語程度副詞の文体研究—「甚だしさを意味する」ものを中心に	大連外国語学院
13	17:40~18:00	柳香丹	「いいだと思います」の誤用とその対策	延辺大学

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後

第六会場【言語6】

座長：李慶祥、潘 蕾

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	呉沛珊	感情に関わる比喻表現 — 日中両言語の《涼》に対する捉え方について	日本・大阪大学 大学院（院生）
2	13:20~13:40	魏曉艷	メタファーに基づくオントロジーとしての「心」が 日本語の中での転移—メタファーから見る中国語 の「心」と日本語の「気」	日本・大阪電気 通信大学
3	13:40~14:00	山口和彦	日中韓英の「入手」動詞の意味ネットワーク	日本 札幌医科大学
4	14:00~14:20	張韶岩	賤し言葉の日中対照	中国海洋大学
5	14:20~14:40	潘 蕾	古代日本の「大兄」についての一考察	北京日本学研 究センター
6	14:40~15:00	徐 瑛	「死」に関する忌み言葉の 日中対照研究	延辺大学
※ 休憩（15：00—15：30）				
7	15:30~15:50	金香梅	「食、吃（喫）」における中・日・朝比較考察	中央民族大学 （院生）
8	15:50~16:10	崔玉花	日本語と中国語の動詞にみる結果性 — 結果キャンセル構文の成立可否を巡って	延辺大学
9	16:10~16:30	李慶祥	忌讳词与中日语言心理	中国海洋大学
10	16:30~16:50	孫蓮花 林樂青	看板における日本語表記に関する一考察 — 大連市を事例に	大連理工大学
11	16:50~17:10	張北林 李光赫	日本二代総理大臣の敬語使用状況に対する一考察 — 「国会会議録検索システム」に基づいて	大連理工大学
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後

第七会場【言語7】

座長：馬駿、岸田 文隆

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	馬駿 黄美華	『日本書紀』の文体と漢訳佛典	対外経済貿易 大学 中国伝媒大学
2	13:20~13:40	劉叡智 孟慶榮	『ダンス・ダンス・ダンス』の中国語訳本に 見られる訳者の主体性	大連理工大学
3	13:40~14:00	劉璐	現代日中両言語に見られる「疑似古語」の 翻訳に関する問題点の対照分析	日本・大阪大学 (院生)
4	14:00~14:20	秦曉麗	日中翻訳から見た数量詞表現をめぐる工夫 —日本文学作品を対象として	日本・大谷大学 大学院 (院生)
5	14:20~14:40	花村嘉英	中日翻訳の高速化について —比較言語学からの考察	集美大学
6	14:40~15:00	文俊	远程会议日汉口译中译员压力的研究	北京语言大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	岸田文隆	朝鮮語対話書「惜陰談」・「和韓問答」と 戸田頼母「贅言試集」	日本・大阪大学
8	15:50~16:10	王閏梅	日本における近代文体の発生過程が中国の 近代文体発生への影響について —梁啓超の事例を通して	華中科技大学
9	16:10~16:30	矢野謙一	日本における旧朝鮮語学 —1880年から1892年まで	日本 熊本学園大学
10	16:30~16:50	劉笛	『千と千尋の神隠し』あの字幕翻訳に関する考察— 翻訳シフトの視点から	大連理工大学 (院生)
11	16:50~17:10	李駟姫	明治期の待遇付加形式の一考 —『浮雲』『其面影』『坊ちゃん』を中心に	韓国 瑞逸大学校
12	17:10~17:30	王燕	中国語訳から見た取得補助動詞構文	北京语言大学

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後

第八会場【古典文学1】

座長：何衛紅、西田 禎元

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	何衛紅	山上憶良「沈疴自哀文」の理解について	北京外国語大学
2	13:20~13:40	韓 雯	「詩紀落梅之篇」 —「梅花落」とのかかわりについて	日本 創価大学(院生)
3	13:40~14:00	陳秋萍	江戸時代初期における韓愈と『孟子』 —林羅山を中心に—	日本 久留米大学
4	14:00~14:20	林 暁	和歌文学における蜘蛛	北京連合大学
5	14:20~14:40	権 宇	景情の俳諧味と「景気」説 —蕉風俳論と中国詩話との関連性から	延辺大学
6	14:40~15:00	林 娜	日本文学における儒家思想の受容 —『詩経』大序と『古今和歌集』序の比較から	山東省聊城大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	金生谷達也	七世・竹本住大夫の浄瑠璃	明治大学大学院 (院生)
8	15:50~16:10	卢俊偉	伝奇小説における東アジアの文人意識 —『剪灯新話』『水宮慶会録』の受容を中心に	北京日本学研 センター
9	16:10~16:30	於国瑛	想像力と視線をめぐる物語りの方法 —『源氏物語』まで辿る	北京林業大学
10	16:30~16:50	西田禎元	『源氏物語』の古注釈 —中国の故事をめぐる	日本 創価大学
11	16:50~17:10	楊俏村	かぐや姫の生命を生む月光	北京聯合大学
12	17:10~17:30	杜 氷	『徒然草』 —兼好法師とその時代の結晶	北京師範大学
	17:30~17:50	真野友恵	懐風藻と仏教	韓国 新羅大学

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後



第九会場【古典文学2】

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20			
2	13:20~13:40			
3	13:40~14:00			
4	14:00~14:20			
5	14:20~14:40			
6	14:40~15:00			
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50			
8	15:50~16:10			
9	16:10~16:30			
10	16:30~16:50			
11	16:50~17:10			
12	17:10~17:30			

- ※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。
- ※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。
- ※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後



## 第十会場【近現代文学1】

座長：関立丹、徳永 光展

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	王 雪	谷崎潤一郎「金と銀」論 —芸術品と商品の間	日本 日本学研究 センター(院生)
2	13:20~13:40	申福貞	太宰治『津軽』論	日本・熊本大学 大学院(院生)
3	13:40~14:00	李 捷	太宰の中期「女語り」作品群における女性の 二重役割—『皮膚と心』を中心に	大連理工大学
4	14:00~14:20	徳永光展	思春期にさしかかる次男の葛藤 —城山三郎『素直な戦士たち』論	日本 福岡工業大学
5	14:20~14:40	吉川佳英子	川端文学『眠れる美女』をめぐって	日本・京都造形 芸術大学
6	14:40~15:00	関立丹	司馬遼太郎代表作『坂の上の雲』をめぐって	北京語言大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	傅玉娟	童話による発信の背後 —木下杢太郎「崑崙山」を中心に	北京日本学 研究センター (院生)
8	15:50~16:10	安勇花	夏目漱石の前期三部作 —女性に見られる近代意識をめぐって	延辺大学
9	16:10~16:30	孔 月	芥川龍之介「第四の夫から」論 —1920年代メディア言説を手がかりに	大連理工大学
10	16:30~16:50			
11	16:50~17:10			
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

**8月23日午後**



# 第十一会場【近現代文学2】

座長：楊炳菁、齊藤 絢

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	楊炳菁	中国における村上春樹の早期受容について	北京外国語大学
2	13:20~13:40	于 達	泉鏡花の『高野聖』に見る中国文学受容の可能性 —『河東記』との比較を中心に	大連外国語学院
3	13:40~14:00	朴銀姫	越境するテキスト—植民地における朝鮮人日本語作家たちの文学作品を中心に	日本 日本学術振興会
4	14:00~14:20	渡邊朝美	蘇曼殊『絳紗記』について	日本 熊本大学大学院 (院生)
5	14:20~14:40	王 静	石川啄木と宮沢賢治	河南師範大学
6	14:40~15:00	金正雄	耽美主義文学の比較研究—谷崎潤一郎の刺青・春琴抄 と金東仁の狂画師・狂炎ソナタを中心に	延辺大学
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30~15:50	海村佳惟	Book 1の青豆の人物像の再構築に関する一考察 —『1Q84』の頼訳と施訳との対照比較を中心に	大連外国語学院
8	15:50~16:10	趙佳舒	人格喪失—『ノルウェイの森』の人物分析	煙台大学
9	16:10~16:30			
10	16:30~16:50			
11	16:50~17:10			
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後



## 第十二会場【教育1】

座長：胡学亮、白雪花

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00～13:20	張 梅	日本小中学校の少人数学級の導入背景に関する考察	深圳大学
2	13:20～13:40	白雪花	ニューカマーの児童・生徒と日本の学校文化	日本・東京女学館大学
3	13:40～14:00	権艶美	中国朝鮮族居住地域における日本語教育	日本・北海道大学（院生）
4	14:00～14:20	李 軍	長春市における日本語教育及び課題	東北師範大学
5	14:20～14:40	胡学亮	幕末信濃国農村における寺子屋教育に関する一考察 —門人帳の分析をとおして	北京師範大学 珠海分校日本 教育研究所
6	14:40～15:00	川名 巻	日本の旧植民地台湾における日本語教育について —現在の日本語教育との比較	韓国・韓瑞大学
※ 休憩（15：00—15：30）				
7	15:30～15:50	佐々木勝司	中国朝鮮族居住地域における日本語教育 —日語写作Ⅱにおける実践的論文指導の展開	延辺大学
8	15:50～16:10	柴田幹夫	満州（中国東北部）における 西本願寺付属日本語学校について	日本・新潟大学 国際センター
9	16:10～16:30	祝 利	「満州国」の多民族に対する日本語教育の異動 —1939年に実施された日本語検定試験の 試験問題を中心に	日本・九州大学 大学院（院生）
10	16:30～16:50	松永典子	清末の日本語教科書にみる知の技法 —教師・学習者・共作の教科書の比較を通して	日本・九州大学
11	16:50～17:10	宮脇弘幸	日本統治下中国東北部における教育の虚と実	遼寧師範大学
12	17:10～17:30	崔光準	韓国における日本語教育の実態	韓国・新羅大学

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

**8 月 23 日午後**



## 第十三会場【教育2】

座長：郭俊海、山下 直治

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	林楽青 孫蓮花	日本語人材に対する社会需要の変化及び日本語人材育成の問題点—大連の日系企業を中心に	大連理工大学
2	13:20~13:40	王晓明	地域経済に適応するビジネス日本語教育のあり方について	東北大学 秦皇島分校
3	13:40~14:00	松岡洋子 足立裕子	人口移動に伴う東アジアの言語課題—結婚移住者の言語教育施策の日韓比較	日本・岩手大学 日本・新潟大学
4	14:00~14:20	山下直治	教育活動における「自律的動機づけ」の形成過程—グルジャ学派の「構え理論」からの分析	日本・北陸大学
5	14:20~14:40	金春香 千種真一 後藤斉 安永大地	バイリンガルのL2（第二言語）習得におけるL1（第一言語）使用への影響について	日本・東北大学 大学院
6	14:40~15:00	植田晃次	明治期朝鮮語学習書・伊藤伊吉『独学韓語大成全』の書誌学的研究	日本・大阪大学 大学院
※ 休憩（15：00—15：30）				
7	15:30~15:50	全永男	漢族・朝鮮族日本語学習者のアクセント習得の傾向について	延辺大学
8	15:50~16:10	金芸蘭	日本語学習者の自己評価から見る日本語教育	延辺大学
9	16:10~16:30	佐々木利子	中国朝鮮族居住地域における日本語教育—日語会話におけるロールプレイ	延辺大学
10	16:30~16:50	郭俊海	第三言語としての日本語—シンガポールの二言語政策における日本語教育	日本・九州大学 留学生センター
11	16:50~17:10	呉禧受	バイリンガル教育の要因—母語能力が異なる二人のバイリンガル児童を対象に	名古屋大学
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

**8月23日午後**



## 第十四会場【教育3】

座長：尹貞姫、橋本 恵子

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	橋本恵子	問題解決型ディスカッション評価結果の分析	日本・福岡工業 大学短期大学部
2	13:20~13:40	莫全芬 結城佐織	視聴覚の授業における運用能力の強化について	吉林華僑 外国語学院
3	13:40~14:00	聞 芸	中国人日本語学習者の不満表明に関する一考察	大連理工大学
4	14:00~14:20	名嶋義直	学習者の日本語に見られる「顕在化しない誤用」	日本 東北大学大学院
5	14:20~14:40	羅麗傑	日本文学プレゼンテーション式 授業法についての模索	大連外国語学院
6	14:40~15:00	李金蓮	日本語教育における文化的要素の重要性 —中国人学習者に対する漢字語指導を例にして	山東大学
※ 休憩 (15 : 00—15 : 30)				
7	15:30~15:50	李美花	精読授業でのインターネット活用法	延辺大学
8	15:50~16:10	尹貞姫	中国大学の日本語教育における通訳訓練法の 効果と展望	大連外国語学院
9	16:10~16:30	韓春麗	上級日本語学習者の日本語二字漢語使用調査及び誤 用分析—一級能力試験出題基準漢字語彙を中心に	大連理工大学
10	16:30~16:50	崔貞林	通訳授業における訓練法	延辺大学
11	16:50~17:10			
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

**8 月 23 日 午後**



# 第十五会場【文化1】

座長：李鋼哲、安達 義弘

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	賈 華	構文法における中日間の相違についての一考察 —比較文化論の視点から	香港・マカオ・ 広東日本研究大 学联合会理事
2	13:20~13:40	李垠庚	占領期における日本女性の敗戦・対外認識：日本 YWCA の『女性新聞』（19456—1950）の記事を中心として	韓国・ソウル大 学日本研究所 HK 研究教授
3	13:40~14:00	安達義弘	日本と中国との間の比較酒文化論 —17世紀の西洋人による記録に基づいて	日本 福岡国際大学
4	14:00~14:20	湯 麗	中日女性の婚姻地位に関する比較研究 —清朝と江戸時代を中心に	北京理工大学
5	14:20~14:40	山田哲平	日本研究を中心とする中日韓朝人文系の比較研究 —梅と桜	日本 明治大学法学部
6	14:40~15:00	李鋼哲	環日本海交流圏における 多文化共生と意識変革	北陸大学
※ 休憩（15：00—15：30）				
7	15:30~15:50	川口智彦	日本における北朝鮮のイメージ —ネガティブなソフトパワーの存在	日本大学
8	15:50~16:10	呉栓友	和辻倫理学の行為論について	河南師範大学
9	16:10~16:30	楊 柳	日本礼儀文化近代化研究	北京日本学研究 センター（院生）
10	16:30~16:50	林銀花	日本の枯山水庭園とその美の思想	南京工業 技術学院
11	16:50~17:10	斉藤絢	近代日本の大衆歌謡に関する一考察—日韓相互間 における流行歌の音楽的類似性を中心として	韓国 新羅大学
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

**8 月 23 日午後**



# 第十六会場【文化2】

座長：王秀文、海村 惟一

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00～13:20	李恵敏	ことわざと文化	
2	13:20～13:40	魏麗華	ジェンダー関係からみる日本文化	洛陽外国語学院
3	13:40～14:00	顧令儀	大正デモクラシーから軍国主義への変容 一田中義一と日本社会の変遷	西安交通大学 人文学院 歴史文化研究所
4	14:00～14:20	海村惟一	日本における『論語』の受容	日本 福岡国際大学
5	14:20～14:40	李芬雨	6世紀の東アジアと日本	韓国 新羅大学
6	14:40～15:00	王超偉	武士道の主体たる武士の出現について	解放軍外国語学院
※ 休憩 (15:00—15:30)				
7	15:30～15:50	李玉蓮	植民地時期韓国(仁川)における日本人の移住者 研究—メディアを中心に	延辺大学
8	15:50～16:10	許貞芽	6・7世紀の古代日本と百済の対外関係に関して —記紀記事を中心に	日本 新羅大学
9	16:10～16:30	李雄傑	中日思考意識への一考察	延辺大学
10	16:30～16:50	趙徳宇	天主教东传与中日两国对应	南开大学 日本研究院
11	16:50～17:10	金明姫	グローバル化に伴う中国朝鮮族の生活と文化変容	無錫江南大学
12	17:10～17:30	王秀文	中国における二宮尊徳研究の現在と展望	大連民族学院

- ※ 発表は質疑応答を含めてお一人20分です。時間を厳守してください。
- ※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。
- ※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

8月23日午後



# 第十七会場【経済】

座長：周維宏、笠井 信幸

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00~13:20	蔵志勇	中小企業政策に関する国別比較研究 —中日両国における中小企業政策の事例を中心に	寧夏大学
2	13:20~13:40	李春植	経済大国・日本はそのまま沈んでしまうのだろうか	広東商学院
3	13:40~14:00	穆堯芋	日本の地方企業における対中進出の現状と問題点 —新潟県の事例	日本 環日本海経済研 究所調査研究部
4	14:00~14:20	笠井信幸	日韓貿易不均衡問題と FTA 締結の意味	日本・アジア経 済文化研究所
5	14:20~14:40	林采成	アジア・太平洋戦争期における大陸物資の 陸運転嫁輸送と大陸鉄道輸送協議会	韓国 ソウル大学校 日本研究所
6	14:40~15:00	張浩帆	中国に進出する日本企業の現地化	華東政法大学
※ 休憩 (15 : 00—15 : 30)				
7	15:30~15:50	周維宏	日本農村工業化の最新進展について	北京外国語大学 北京日本学研究 センター
8	15:50~16:10	温 娟	日本農業の行方 —3.11 東日本大震災の影響をめぐって—	南開大学 日本研究院
9	16:10~16:30	土井浩嗣	普通学校農業教科書にみる明治農法	日本 熊本学園大学
10	16:30~16:50			
11	16:50~17:10			
12	17:10~17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

**8 月 23 日午後**



# 第十八会場【歴史】

座長：宋志勇、岩野 卓司

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00～13:20	岩野卓司	「最終戦争」は可能なのだろうか？ －石原莞爾『最終戦争論』の思想的限界	日本・明治大学
2	13:20～13:40	山泉進	大逆事件と東アジア	日本・明治大学 大学院
3	13:40～14:00	銭昕怡	日清戦争期における日本の帝国主義論	中国人民大学 外国語学院
4	14:00～14:20	朴美貞	コククジラはなぜ陸にいったのか －植民地朝鮮における日本人漁業活動の一考察	日本 国際日本文化 研究センター
5	14:20～14:40	市塚守	韓流の歴史学	韓国・新羅大学
6	14:40～15:00	鈴木裕輔	中国の民族自決は日本の国益を増進させる －戦前期における石橋湛山の「小日本主義」と中国	日本・法政大学
※ 休憩（15：00—15：30）				
7	15:30～15:50	堀込和利	「日本人の戦争の記憶」 －アジアへの加害者意識の希薄さについて	明治大学 大学院（院生）
8	15:50～16:10	上條信彦	東アジア先史時代の農耕技術の拡散過程	日本・弘前大学
9	16:10～16:30	宋志勇	关于 1930 年代日本的对华认识	南开大学 日本研究院
10	16:30～16:50			
11	16:50～17:10			
12	17:10～17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。

**8 月 23 日 午後**



# 第十九会場【社会】

座長：邵建国、伊集院 敦

順番	時間	発表者	論文タイトル	所属
1	13:00～13:20	伊集院敦	東日本大震災の日本とアジア外交	日本 日本経済新聞社
2	13:20～13:40	肖傳国 張衛娣	冷戦終結後における 日本の東アジア戦略の調整と中国	解放軍外国語学院 河南科技大学
3	13:40～14:00	南 誠	満洲の崩壊と「中国残留日本人」の形成 —日中関係と国民統合の観点から	日本・京都大学 文学研究科 GCOE 研究員
4	14:00～14:20	李 偉	旧満洲地域の都市公園に関する研究 —公園緑地協会の活動を中心に	日本・国際日本文化研究センター 日本学術振興会
5	14:20～14:40	李勁松	中国中間富裕層と在中日本人コミュニティとの交流から見た新しい日中関係 —青島日本人コミュニティの事例から	青島理工大学
6	14:40～15:00	李東輝	日本の高齢者の社会参加の実態及び その影響要因について	大連外国語大学
※ 休憩 (15 : 00—15 : 30)				
7	15:30～15:50	邵建国	瀋陽領事館事件から見る日本の政治	北京外国語大学
8	15:50～16:10	崔梅花	日本のマスメディアにおける政治的自主規制の 形成と展開—中国と比較の視点から	延辺大学
9	16:10～16:30	李文哲	テレビと「国民」アイデンティティ —朝鮮についての日本と韓国のテレビ表象を中心に	千葉大学
10	16:30～16:50	尹 虎	満州国期、間島省における「国家兵営化政策」の 展開について	延辺大学
11	16:50～17:10			
12	17:10～17:30			

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 20 分です。時間を厳守してください。

※ 実際発表者数により発表時間の伸縮があり得ますが、この辺は座長に一任します。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、座長は交替でしていただきます。